



世界に希望を生み出そう

2023-24 国際ロータリーのテーマ
会長 ゴードン R. マツキナリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2023 ▶ 2024
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長目標

留萌に希望を生み出そう ~CREATE HOPE in the RUMOI~

会長/武田 佳彦 幹事/西原 正幸

プログラム

- 本日
来賓卓話「北海道のエネルギー事情」
北海道エナジティック留萌営業所 所長 館盛 秀幸様
- 次週予定
- 法定休会 -

配偶者誕生日

伊 藤 美由紀
吉 川 良 子
渡 邊 順 子

No. 2976 第17回 11月15日

出席報告

前例会

会員総数	25名
出免会員	5名
出免出席	3名
基準会員出席	12名
出席率	65.22%

例会/毎週水曜 12:15~13:15

📝 会長報告

1. 本日例会前に臨時理事会を開催致しました。先日皆様にお回した会員選挙の結果、入会が決定致しました。次週の例会にて入会式を行う旨、決定を致しました。併せて大変残念でございますが、本日付で福土会員の退会を承認致しました。
2. 11月の最終例会は年次総会となっております。そこで指名委員会を立ち上げます。委員長は大嶋会員ですが、福土会員の退会に伴い1名補充する事になり、渡邊会員に指名委員をお願いする事に致しました。

📝 幹事報告

- 10月最終例会でエンドポリオ基金として皆さんから募金をお願いしました。総額16,000円を寄付として送金させていただきます。
- 先ほど回覧しましたが、留萌保健所より麻薬撲滅啓発案内が届いております。ボールペンが付いていましたので、欲しい方がおりましたら私まで取りに来て下さい。
- これも回覧に挟んでおきましたが、留萌市よりボランティア講演会の案内が届いております。11月18日土曜日10時から11時までの1時間です。出席希望者がいれば私幹事まで申し込み下さい。
- 滝川、砂川、羽幌クラブより、例会プログラム及び会報を受領しております。

委員会報告

奉仕プロジェクト委員会 谷口委員長

先週の土曜日28日に青少年対象の地区補助金事業が行われ、無事終了しました。後ほどのプログラムにて報告致します。それと10月より財団・米山を受付していますので、追加寄付もお受けしますのでよろしくお願い致します。

3分間情報

クラブ運営委員会 榊副委員長

●中核的価値観とは(「ロータリーの友」より)

ロータリーの「中核的価値観」は、ロータリアンの優先事項と行動の指針となる組織の基本原則を表すものです。これらの価値観は、リーダーシップの意図と方向性を示す原動力なるものであるため、ロータリーの戦略計画において益々重要性を増しているものです。

• 奉仕 (Service)

ロータリーの奉仕活動とプログラムは、さらなる世界理解と平和をもたらすものであると、私たちは信じている。奉仕はロータリーの使命の中でもっとも重要なものである。私たちは、個々のクラブの計画と実践活動を通じて、奉仕するものに無類の喜びを与え、組織全体に奉仕の文化を創造しているのである。

• 親睦 (Fellowship)

個人による奉仕の活動は個々のニーズに焦点を当てたものであるが、人類に奉仕する協同活動も重要であると、私たちは信じている。力を合わせて活動すれば、その力は無限となり、多くのリソース(資源)をもたらし、人生を豊かにし、視野を広げるものとなる。親睦のネットワークは民族や国家といったさまざまな違いを超越して寛容へと導くものである。

• 多様性 (Diversity)

ロータリーは「奉仕の理念」のもとに、すべての人々を世界的に結束させることが出来ると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また、活動や奉仕において、職業の多様性を大切にしている。将来の繁栄の鍵を握るの

は、地域社会の事業や専門職務を反映したクラブである。

• 高潔性 (Integrity)

私たちは、活動の結果や目標達成の過程において責任を守り、また、私たちのリーダーや仲間のロータリアンもそうであることを期待している。私たちは、仕事や人間関係において常に職業倫理の高い水準を固く守っている。私たちは、公平さと尊敬の念を持ちながら人々と付き合い、私たちに託されたリソース(資源)を良心的に管理する。

• リーダーシップ (Leadership)

ロータリーは、さまざまな分野で指導力を発揮できるリーダーの世界的な集まりである。私たちは、このようなリーダーシップの力を育むことが重要であり、ロータリアン各自が優れたリーダーの資質を備えているものと信じている。ロータリアンである私たちは、これらの「中核的価値観」を率先して実行するリーダーである。



ニコニコBOX

• 北電例会、本日よろしく申し上げます。

武田会長

- 素敵なおバースディソングありがとうございます。54歳の輝いて参ります。 串橋直前会長
- 谷口委員長、よろしく申し上げます。

燕エレクト

- 本日例会宜しく申し上げます。 青山副会長
- エンドポリオ寄付ありがとうございます。

西原幹事

- 寒くなってきました。インフル、コロナ、気を付けて下さい。 桜元会計
- 先日のフィジカルトレーニングで体感を鍛えたら体が痛くなりました。

高橋親睦活動委員長

- ご利用ありがとうございました。

辻本クラブ運営委員長

- 弁当おいしかったです。 鈴木会員
- 谷口さん、本日の例会たのしみです。

関野会員

- 本日、何とかやりました。

谷口奉仕プロジェクト委員長

前回 316,000円
 今回 13,000円
 累計 329,000円

📖 プログラム・・・・・・・・

「ロータリー財団について」

皆様の方がお詳しいと思いますが、先月今月とロータリー財団寄付・米山基金寄付の月間となっていますので、改めてお話させていただきます。

ロータリー財団の使命は、「ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。」また、寄付が世界にもたらす影響は、「•わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができます。•50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます。•500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます。」となっており、ロータリー会員の小さな寄付であっても、世界へ貢献できる事が分かります。

2023-24年度ロータリー日本財団の主な目標は「各地区、地区財団活動資金(DDF)を使い切る」事としており、数値目標「年次基金：一人当たり150ドルの寄付」・行動目標「寄付ゼロクラブ解消」などもあります。2022-23年度のロータリー寄付実績は、約22億1000万円で、そのうち年次基金は約15億7000万円・約71%を占めていました。私の前年度の寄付も、年次基金のシェアにされていた事がMy ROTARYで分かりましたので、年次基金の活用について説明します。

年次基金は、3年間運用された後に基金の全額の50%が「地区財団活動基金」に配分され、更に50%が地区補助金として地区が管理し、各クラブからの申請により配分されます。配分の基準は、3年前の年次寄付額の25%を基準額とします。更に各クラブの3年前の年次基金寄付実績の1人当たりの金額によって上限額が決ま

り、150ドル/人以上であれば基準額の100%が上限額として各クラブの補助金事業へ配分されます。皆様には財団への寄付150ドルをお願いしています。また地区へ配分された年次基金は、地区奨学金事業で7名の奨学生を、グローバル補助金を活用し2名の奨学生の援助をしています。

今回の説明に当たり資料を確認した事により、寄付の活用について学ぶ事ができました。

以上で、ロータリー財団についてを終了いたします。



それでは引続き、配分された地区補助金を活用し、先日実施された補助金事業「フィジカルトレーニングで鍛えよう！」の様子についてご紹介します。

今年度の地区補助金事業は、青少年の健康増進と体力向上を目指す、「フィジカルトレーニングで鍛えよう！」を10月28日に留萌市スポーツセンターで実施しました。

講師は、札幌市の合同会社ベストパフォーマンスの菊池講師と三浦講師にお越しいたゞき、小中学生28名と保護者の方数名、会員9名が参加し汗を流しました。

トレーニング前に体力測定で今の状態を確認した後、菊池講師から今回のトレーニングの中心となる股関節の重要性で、「股関節を使う幅跳びが遠くまで飛べる人は足も速く、どんなス

第16回 11月8日(水) 天候/雨

「スポーツでも良い選手になれる」との話を聞き、トレーニングがスタートしました。小学生には簡単でも私達にはちょっと難しい準備運動から始まり、股関節の可動域を広げるストレッチや背筋を鍛える筋力トレーニングで、自分の体の硬さや体力の無さを痛感する事になりました。

後半は、三浦講師によるヨガトレーニングです。難しいポーズをしないヨガで、呼吸に気を付けながら体を整え、無理なく身体をほぐしました。最後は仰向けになり、瞑想で心も整えて深呼吸をしてヨガトレーニングが終了しました。トレーニングには、筋力トレーニングからヨガトレーニングまで保護者の方も参加していただき、一緒に汗を流していただきました。無事終了し参加された方、ご協力いただいた方、ありがとうございました。

